

-----7月31日-----

2017年

※ 今週のアウトトラック (7/31~8/4)

先週は米ドルの自律反発的な動きもありましたが、最終的にはどの通貨ペアもレンジ内の動きに留まったものが多かったようです。

今週は、レンジの下限、あるいは上限を破り、当面のトレンドを決めるような動きが出てくる可能性はありますが、やはり週末の米国雇用統計の結果次第、というところが強いように思います。

先週のドル円は週初めこそ、自律反発的な動きもありましたが、結果的にはレンジ内での動きとなり、週末にはレンジの下限に達して、そのまま終了しています。

今週は、週末の米国雇用統計を睨んだ動きとなりそうですが、結果が思いのほか悪かった場合には、108円から109円付近のサポートラインをブレイクしようとする動きが出てくるように思います。

ドル円の予想レンジは108円から112円です。

ユーロは先週、ユーロドルが1.17ラインをブレイクして上昇気流継続傾向が強くなっていますが、ユーロ円は131円付近のレジスタンスラインをなかなかクリアできないでいます。

今週は、米国雇用統計の結果次第というところが大きいとは思いますが、ドル売り、ユーロ買い、円買いのバランスを見極めながらの動きとなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは128円から132円です。

ポンド円はなんとか144円付近のサポートラインに支えられて、自律反発的な動きを見せています。

今週は、144円から148円付近までのレンジ的な動きとなり可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは144円から148円です。

今週は、米ドル雇用統計が注目されますが、発表前に米ドル売り圧力が強まる可能性も考慮しておく必要はあるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。